

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>		自動車リサイクル推進事業費		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成22年度～		担当課室	企画課リサイクル推進室		室長 森下 哲		
会計区分		一般会計		施策名	4-2 循環資源の適正な3R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		使用済自動車の再資源化等に関する法律		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		産業構造審議会及び中央環境審議会の合同会議における自動車リサイクル法に関する評価や指摘を踏まえ、地方公共団体による不法投棄車両の撤去に当たった作業及び手続きの効率化、不法投棄対策支援事業の運用改善に向けた検討、また、不適正解体を伴う使用済自動車輸出の実態把握について検討を行うこと。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		①使用済自動車の不正輸出事案について、全国の自治体を対象にアンケート調査等を行い、実態の把握を行うとともに、対策・課題を取りまとめる。②自治体の協力の下、不法投棄車両の試験撤去を行い、不法投棄車両撤去における手続き等を分析することにより、撤去手法について検討し、ガイドラインを取りまとめる。③小規模な原因者不明の使用済自動車の不法投棄事案について、行政代執行手続き及び団体等が実施する不法投棄対策支援事業申請手続きのシミュレーションを行うとともに、それぞれの手続きについて、事案を適用する上での課題を取りまとめる。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算	-	-	10	11	9	
			補正予算	-	-	0	0		
			繰越し等	-	-	0	0		
			計	-	-	10	11		
		執行額	-	-	7				
執行率 (%)	-	-	70						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (各年度)
		自動車リサイクル法における自動車破砕残さ(ASR)の再資源化率		成果実績	%	72.4～80.5	77.5～82.1	調査中	30(～H21) 50(H22～)
				達成度	%	268.3	273.7		
		自動車リサイクル法におけるガス発生器(エアバッグ類)の再資源化率		成果実績	%	94.1～94.9	93.2～100	調査中	85
				達成度	%	111.6	117.6		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		本業務は不法投棄車両の撤去に当たったの作業及び手続きの効率化等の検討を行うものであり、定量的な指標及び実績を数値で示すことはできない。		活動実績 (当初見込み)					
単位当たりコスト		(百万円/ )		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費		11	9	事業内容等の見直し				
計		11	9						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>解体自動車は、資源として我が国から海外に輸出されることも多く、我が国における使用済自動車の引取から再資源化までの流れに少なからず影響を与えるため、平成24年度はこれまでの調査に加え、主な周辺国における使用済自動車リサイクル制度の制定状況等について調査を行い、動向を把握する必要がある。また、国際条約等との整合性を確保するため、ASR等の有害物質含有及び挙動等について、実態把握を行う必要がある。なお、引き続き、競争性のある契約方式により効率的な実施に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>支出状況を勘案し、予算規模を見直すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>執行実績を勘案し、業務の効率化により、概算要求額を減額。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

環境省  
7百万円



【総合評価入札】

A. エックス都市研究所  
7百万円

（使用済自動車の適正  
処理促進事業）

**資金の流れ**  
（資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する）  
（単位：百万円）

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.エックス都市研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	使用済自動車の適正処理促進事業	7			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エックス都市研究所	使用済自動車の適正処理促進事業	7	2	73.7%